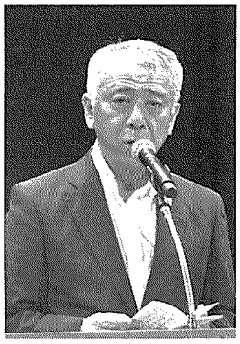
警備業界 全国専門紙 警 備 新 報

東京万引き防止官民合同会議

万引き追放SUMMERキャンペーン

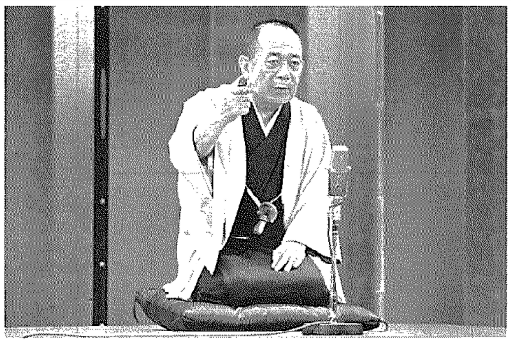
警察、自治体、各業界団体等が相互に連携し、社会総ぐるみで万引防止対策に取り組む東京万引き防止官民合同会議は7月24日、東京都中野区にある、なかのZERO大ホールで第10回万引き追放SUMMERキャンペーンを開催した。



三浦警視総監

キャンペーンは万引き追放に向けた機運の醸成と規範意識の向上を図るもの。万引きの現状についてトークショーやクイズ等を通じて楽しく学ぶ企画だ。

主催者として、警視庁から三浦正充警視総監が「都内の刑法犯認知件数は16年連続で減少し昨年は11万4千件と戦後最小を更新しているなか、その一割以上を占めているのが万引きだ。万引きは事業者の皆さんに大きな損失を与えるだけでなく、これを感化するする風潮が広がれば犯罪を容認することに繋がり、ひいては治安を根底から揺るがすことにもなり兼ねない。万引きをしない、させない、見逃さないをスローガンのもと、自治体、小売店舗、学校、地域住民、ボランティア団体等と連携しながら社会全体で万引きを通報する機運を高めることができるよう、様々な防止対策に取り組んでいく」と話した上で一年後の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されることに触れ、警視庁では都民はもとより、東京を訪れる国内外の人々に世界一安全な都市・東京を体感していただくよう各種の取り組みを進めると強調した。



三遊亭小遊三さん

その後、三遊亭小遊三さんの落語やお笑い芸人のぺこぱのお二人のステージ、ザ・ニュースペーパー等による万引き防止の寸劇、アイドルグループの私立恵比寿中学等を招いて万引き防止クイズでもりあがり、万引きは窃盗罪であり、万引きは従業員の積極的なあいさつ・声かけ「こんにちは」が万引き防止の抑止であると、ともに、万引きはすべて警察に届け出るよう徹底化を求めた。

キャンペーン終了後、参加者である工業会・日本万引防止システム協会の稲本義範会長は「万引きを止める一言『こんにちは』を学びました。私たち日本万引防止システム協会はハードを扱う団体でありますが、警備会社の方々と共にこの精神を宿して警備、ハード、そして地域の方々と万引きを撲滅したいと思います」と述べた。

全員でスローガンを唱和

断するが、1978年に現在の「隅田川花火大会」に名称変更して復活、以後毎年続けられている。